

第 学年 道徳科学習指導案

日時： 年 月 日 () 第 校時
 場所： 立 学校 年 組
 児童(生徒)： 名
 指導者：

1 主題名 【内容項目】

- *「主題」は、授業の内容が概観できるように端的に表す。
- *「内容項目」は主題に応じて【低 B-10 友情、信頼】などと記述する。

2 教材名

- *教材名と出版社名を記述する。

3 ねらい

- *内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相（道徳的判断力、心情、実践意欲や態度）を端的に表す。
- *文末は、「～しようとする心情を育てる。」「～しようとする態度を育てる。」など。

4 主題設定の理由

- （ねらいや指導内容についての教師の捉え方）
*学習指導要領解説を参考に、主題に関わる内容項目の教師の理解等について記述する。
- （ねらいや指導内容に関する児童生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い）
*主題に関わる児童生徒のよさや課題、それに伴って考えさせたいこと等について記述する。
- （使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法等）
*教材の概要や、教材をどのように活用するのか具体的に記述する。

5 展開

	学習活動	主な発問と予想される 児童(生徒)の反応	指導上の留意点	備考
導入	1. *児童生徒の立場で書く。 「～について話し合う。」 「～について振り返る。」など	○(発問) *発問は指導者の立場で書く。 「～とはどういうものでしょうか。」 「～は、どんなことを考えていたのでしょうか。」 「～したことはありますか。」 など ・(反応) *予想される反応は、児童生徒の立場で書く。 「～だと思う。」 「～だから。」 など	・ *指導者の立場で、児童生徒にどのように考えさせたいか等、ポイントとなることについて記述する。	

展 開	2.	○	・	
	3.	◎（中心となる発問） *授業のねらいに関わる中心的な 発問と分かるようにする。		
終 末	4.	○	・	

***その他、他の教育活動などとの関連や板書計画等を記述する場合もある。**

【参考】

○ [「特別の教科 道徳編」小学校学習指導要領（平成 29 年度告示）解説](#)



○ [「特別の教科 道徳編」中学校学習指導要領（平成 29 年度告示）解説](#)

